

シラバス 美術科

教科名	第2学年 美術科	担当者	米田 芽生
-----	----------	-----	-------

【学習到達目標】

- ・自分が制作して楽しむ美術ではなく、鑑賞者や誰かに伝えるということを考えて制作できることを習得する。身につけた知識や技能を活かし、日常生活で使えるものになることを目指す。
- ・名画の知識理解を図る。名画の奥深さに触れ、技法を学び技術向上を図る。
- ・一年間を通じ、自分なりの考え方や主張する力を身につけ、自己の考えを深める。
- ・平面だけでなく、様々な素材や道具に触れ、使い方や使い分けを学び、活用できるようにする。

【学習方法やポイント】

- ・座学では、資料集（又は教科書）の学習したページ、特にその中でもラインの引いてあるページを何度も見ておこう。また、プリントにもラインを引き、赤字にした箇所を再度確認し、要点を押さえておこう。
- ・実技で分からないことがあれば授業中にその場で質問するようにしよう。
- ・実技は時間の制約がある中で進めていくので、授業中は集中して進めていくことが出来るよう努力しよう。上手い下手よりも、まずは努力しているかどうかことが最も大切なことです。後で“やりきった”と思えるような作品作りを目指そう。

【年間学習計画表】

学期	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
1 学期	<p>★「モダンテクニック」</p> <p>★名画鑑賞 「ルネサンス」</p>	<p>★モダンテクニックを練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題を効果的に伝えるために配色や使用するモダンテクニックなどを工夫し考える。 ・各自でテーマを決め、資料などを利用しながら制作を進める。 <p>★ルネサンスの画家について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書や資料集、配布プリントに掲載されている名画を鑑賞し、名画の奥深さに触れる。 	<p>★制作に必要な用具や資料を準備し、主体的に創作活動に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見る人の立場に立って、見やすく美しいデザインを工夫できることを目指す。 ・用具を正しく使いモダンテクニックが持つイメージに合うよう画面全体の色調や構成を工夫して、独創的で豊かな表現ができることを目指す。 <p>★鑑賞の心構えを持ち作者の意図、表現の工夫などを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品と作者のつながりを理解し、より深い学びができるようにする。
2 学期	<p>★「パッケージデザイン」</p> <p>★名画鑑賞 「浮世絵」</p>	<p>★伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を活かしてわかりやすさや美しさなどを考え、パッケージデザインを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具の特性を活かし、自分の表現意図に合う方法を工夫して制作をする。 <p>★浮世絵師について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書や資料集、配布プリントに掲載されている名画を鑑賞し、名画の奥深さに触れる。 	<p>★作品を作る目的とデザインの関連性について理解し、必要な要素をデザインに反映させることが出来る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造形的な良さや美しさ、表現の工夫を学ぶ。 <p>★名画を知って知識を得るだけでなく良さや奥深さを感じ、制作にも活かしていけることを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本美術について関心をもつ。

3 学 期	★はりこ 「起き上がり小法師を つくろう」	★形を活かして、作品に合う起き 上がり小法師のデザインを考 える。 ・用具の使い方、水のりや和紙の 性質を考えて、張り方を工夫し ながら、均一に貼れるように制 作し着色する。	★作品の下書き作りの留意点を考えて 工夫されたデザインを目指す。 ・目標を持ち、主体的に制作活動に取 り組める力をつける。 ・感性や想像力を働かせて材料を活か し、作品に想像性・発想力を養う。
-------------	-----------------------------	---	---

【評価について】

美術科では、以下の3つの観点に基づき、生徒の皆さんの学習の様子を総合的に評価します。

○知識・技能

作品作りにおいて習得した知識を活かし、その能力を作品に反映することが出来ているかどうか。
また、作品制作において丁寧な作業ができていますか。

(主に、提出課題を見て、授業中の指示を守って技能的に高めることが出来ているか。定期テストも
含む。)

○思考・判断・表現

作品作りにおいて、独自性や感性を大切にし、オリジナリティ溢れるものになっているか。

(主に、提出課題や課題プリントを見て、見本例や周りの生徒達の考えに左右されることなく、自身
の感性を活かし、作品に反映させているかどうか。)

作品を鑑賞し作品についての知識理解に加え作品の奥深さを感じ、自分なりの感性・考えが
育っているかどうか。他の生徒の作品を鑑賞し、その良さを感じることが出来ているか。

(主に、課題プリントを見て、自分の意見を具体的にまとめることが出来ているか。定期テス
トも含む。)

○主体的に学習に取り組む態度

美術の知識を進んで吸収し、取り入れようとする。作品についての考えを深め、より良いものに出
来るよう努める。

(主に日ごろの授業への取り組み、提出物の状況、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の評価項
目。)